



機構及び事務分掌

平成 25 年 5 月 15 日

文化観光局

目 次

1 機構図

文化観光局 P 1

2 事務分掌

文化観光局 P 2

1 機構図



(注1) 表中、点線で囲まれた部分は外郭団体等への派遣職員を示します。
 (注2) 表中の括弧内の数字は、内線番号を示します。

2 文化観光局事務分掌

横浜魅力づくり室

企画課

- 1 横浜の魅力向上に係る総合的な企画、調整及び調査研究に関すること。
- 2 局の重要施策の企画及び総合調整に関すること。
- 3 シティプロモーションに関すること。

総務部

総務課

- 1 局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- 2 局内の事務事業の連絡調整に関すること。
- 3 局所管の外郭団体の総合調整に関すること。
- 4 局の危機管理に関すること。
- 5 財団法人横浜開港150周年協会に関すること。
- 6 開港 150 周年記念事業に関すること。
- 7 他の室および部の主管に属しないこと。

創造都市推進部

創造都市推進課

- 1 創造都市の形成に係る総合的な企画、調整及び事業等の実施に関すること。
- 2 創造都市の形成に係る拠点の整備及び運営管理並びにこれらに係る企画、調査及び調整に関すること。
- 3 創造都市の形成に係るまちづくりに関すること。

文化振興部

文化振興課

- 1 文化施策の総合的な企画及び事業の実施に関すること。
- 2 文化芸術活動の総合的な支援に関すること。
- 3 文化施設の整備及び運営管理並びにこれらに係る企画、調査及び調整に関すること。
- 4 区役所の文化振興支援に関すること。
- 5 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団に関すること。
- 6 文化基金に関すること。
- 7 その他文化振興に関すること。

観光コンベンション振興部

観光振興課

- 1 観光交流の推進及び調整に関すること。
- 2 観光関係の団体及び施設に関すること。
- 3 国内外からの観光客の集客に係る総合的な企画、調整及び事業の実施に関すること。
- 4 公益財団法人三溪園保勝会及び公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューローに関すること。
- 5 部内他の課の主管に属しないこと。

コンベンション振興課

- 1 大型国際コンベンションその他のコンベンション等の誘致及び開催支援に関すること。
- 2 大規模集客イベントの支援に関すること。
- 3 コンベンション関係の団体及び施設に関すること。
- 4 株式会社横浜国際平和会議場及び株式会社横浜アリーナに関すること。



平成 2 5 年 度

事 業 概 要

文化観光局

目 次

ページ

I 平成25年度文化観光局予算について	3
<<予算額の概要>>	
<<予算編成の考え方>>	
◆コラム① 文化観光局の事業展開の概念◆	4
II 平成25年度文化観光局主要事業	5
1 戦略的・効果的なシティプロモーションの展開	5
(1) シティプロモーション事業	
(2) 調査分析事業	
(3) 魅力創発事業	
2 横浜の未来を担う次世代育成の推進	6
(1) 芸術文化教育プログラム推進事業	
(2) クラシック・ヨコハマ推進事業	
(3) 映像文化都市づくり推進事業	
◆コラム②「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」◆	7
3 市民の文化芸術活動の支援	8
(1) 地域文化サポート事業	
(2) 芸術文化支援事業	
(3) 創造都市市民連携事業	
(4) 文化施設運営事業	
(5) 文化施設整備事業	
(6) 市民ギャラリー移転事業	
4 創造都市施策の新たな展開	10
(1) アーツコミッション事業	
(2) 旧関東財務局保全・耐震対策事業	
(3) スマートイルミネーション事業	
(4) 創造界限活動支援事業	
(5) 創造都市国際交流事業	
◆コラム③ 集積から産業振興へ◆	11

5 横浜らしい先進的な文化芸術の国内外への発信	12
(1) 横浜芸術アクション事業	
(2) 横浜トリエンナーレ事業	
(3) 創造都市国際交流事業【再掲】	
◆コラム④ 人、モノ、情報の拠点都市へ◆	14
6 国内外からの集客増に向けた取組の推進	15
(1) 企業連携観光プロモーション事業	
(2) 「武家の古都・鎌倉」世界遺産活用事業	
(3) 国内誘客事業	
(4) 海外集客プロモーション事業	
◆コラム⑤ 「武家の古都・鎌倉」世界遺産登録◆	16
7 MICE誘致・開催支援の充実	17
(1) アフリカ開発会議横浜開催推進事業	
(2) MICE誘致・開催支援事業	
(3) 新たなMICE拠点整備検討事業	
◆コラム⑥ 横浜MICEの実績と国内外でのMICEの取組◆	19
◆コラム⑦ 横浜市中小企業振興基本条例関連事業◆	20
III 平成25年度文化観光局予算総括表	21
IV 予算科目別内訳	23
1 文化観光総務費	23
2 創造都市推進費	24
3 文化振興費	26
4 観光・コンベンション振興費	28

この冊子で「緊急雇用創出事業」とは、「神奈川県緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用した事業のことです。

I 平成 25 年度 文化観光局予算について

予算額の概要

平成 25 年度の文化観光局の一般会計の予算額は、88 億 4,368 万円、対前年度 1 億 8,572 万円の減、2.1%の減となっています。

区 分	平成 25 年度予算額	平成 24 年度予算額	増 減
一般会計	88 億 4,368 万円	90 億 2,940 万円	△ 1 億 8,572 万円(△2.1%)

(内訳は 21 ページの文化観光局予算総括表を御覧ください。)

予算編成の考え方

1. 中期 4 か年計画の集大成に向けて

文化観光局は、本市の成長戦略である「観光・創造都市戦略」を担い、文化芸術・観光 MICE 分野のさらなる充実を図る使命があります。

大変厳しい財政状況ではありますが、徹底した事務・事業の見直しを行い、選択と集中により、効果的な事業展開を行うべく、予算編成を行いました。

25 年度は、中期 4 か年計画の最終年度であり、観光 MICE 分野での成長を促進するとともに、横浜の強みをいかし、次世代につながる幅の広い文化芸術、創造都市施策の展開と発信により、賑わいと活力の溢れる「選ばれる都市」の実現を目指します。

2. 施策を推進する 7 つの柱

横浜が市民の皆様にとって誇れるまち、国内・海外からも「選ばれる都市」として、持続的に発展し、都市の活性化を図るために、市民の皆様をはじめ、地域、事業者、NPO、行政が連携し、施策に取り組みます。

施策の推進にあたっては、『中期 4 か年計画の中間振り返り』や昨年 12 月に文化観光局で取りまとめた『横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方』を基軸として、文化芸術、創造都市・まちづくり、観光 MICE のそれぞれの取組を深化させるとともに、一層の相乗効果を発揮していきます。

25 年度は、文化芸術がもたらす効用や観光 MICE の社会的効果を十分に施策に反映するべく、「戦略的・効果的なシティプロモーションの展開」や「横浜の未来を担う子どもたちや若い才能の育成に取り組む事業」、「市民の皆様や NPO 等が主体となっていく、地域や郊外部での文化芸術活動の支援」、「アーティスト・クリエイターの集積を推進し、ビジネス機会の創出

や創造的産業の集積につなげる取組」、「横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信し、賑わいづくり、経済の活性化を図る取組」、「『武家の古都・鎌倉』世界遺産登録など、時宜を捉えた観光プロモーションにより集客増を推進する取組」、「第5回アフリカ開発会議横浜開催の支援をはじめとした MICE 誘致・開催支援の充実」、以上、**7つの柱**を立て、施策を推進します。

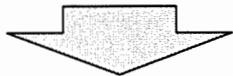
※ MICE（マイス）とは、Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行）、Convention（国際機関・団体・学会等が主催する総会、学術会議等）、Event/Exhibition（イベント・展示会・見本市）の頭文字をとった言葉。

- 1 戦略的・効果的なシティプロモーションの展開
- 2 横浜の未来を担う次世代育成の推進
- 3 市民の文化芸術活動の支援
- 4 創造都市施策の新たな展開
- 5 横浜らしい先進的な文化芸術の国内外への発信
- 6 国内外からの集客増に向けた取組の推進
- 7 MICE 誘致・開催支援の充実

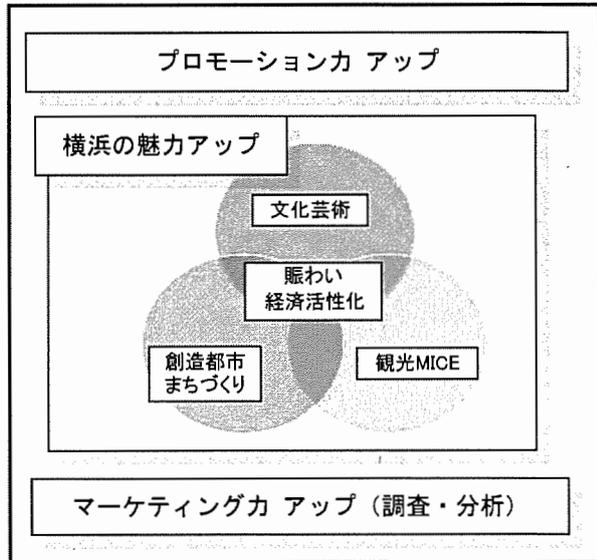
◆ コラム① 文化観光局の事業展開の概念 ◆

文化観光局は3つのアップ！！

- ◆ プロモーションカ アップ
- ◆ 横浜の 魅力 アップ
- ◆ マーケティングカ アップ



3つのアップを連動させ、横浜の魅力を発信し、「ヒト・モノ・情報」など新たな資源を呼び込み「千客万来のまち」、「経済の活性化」につなげていきます。



Ⅱ 平成 25 年度 文化観光局 主要事業

1

戦略的・効果的なシティプロモーションの展開

横浜の魅力を、市内外へ十分に周知し、認知率・来訪率などの事業効果を高めるため、基礎的情報の収集・分析を踏まえ、観光・MICE・文化芸術・創造都市の取組を総合的に発信するシティプロモーションを戦略的・効果的に展開します。

(1) シティプロモーション事業

5,999 万円（前年度：5,713 万円） p. 23

文化芸術・観光分野を中心とした全庁的取組として、表現や方法に統一性と一貫性のあるプロモーションを展開します。調査分析に基づき、特に首都圏での情報発信力の強化のため、重点的にプロモーションを行うイベント等を設定するほか、幅広く様々な媒体を戦略的・効果的に組み合わせるなど、選択と集中により、横浜のブランディングにつながるプロモーションを進めていきます。

(2) 調査分析事業

880 万円（前年度：600 万円） p. 23

市内で実施されるイベントや、横浜を代表する文化・観光施設等について、意識行動調査を実施し、広く認知度や訪問意欲等を把握することにより、今後の施策立案、プロモーション等の基礎資料として活用します。

(3) 魅力創発事業

2,380 万円（前年度：4,065 万円） p. 23

都心部や郊外部の魅力資源について、区局、市民団体、企業等との協働により、横浜の魅力をさらに高める取組を進めます。25 年度は、歴史や自然などの地域資源を活用した区局連携事業である「旧東海道の歴史を活かした魅力づくり」、「上郷森の家・自然観察の森を拠点とした魅力づくり」などを、24 年度の実績を踏まえて展開します。

次世代を担う子どもたちの豊かな創造性や感受性を育むため、子どもたちが学校や地域において、文化芸術や国際交流などに親しむ様々な機会を充実します。

また、才能豊かな人材や、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、チャンスあふれる街を目指します。

(1) 芸術文化教育プログラム推進事業 **拡充**

2,350万円（前年度:1,750万円）

p. 26

次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力等を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、文化施設等とのネットワークにより実施します。

より多くの子どもたちが芸術文化に親しむ機会を充実させるため、プログラム実施予定校数を15校拡大し、88校で実施します。

(2) クラシック・ヨコハマ推進事業 **拡充**

1,400万円（前年度:1,100万円）

p. 26

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、地域でのサロンコンサートやミュージアムコンサート等を開催し、若手演奏家に演奏の機会を提供するとともに、市民の皆様が気軽にクラシック音楽を楽しめるよう、広報を充実させます。

また、世界的演奏家が指導する合宿形式の国際音楽セミナー（ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン）を横浜みなとみらいホールで開催し、世界各地から集う若手演奏家に研さんの場を提供するとともに、成果を発表するコンサートを実施します。あわせて、市立学校でセミナー講師によるプログラムを実施します。

(3) 映像文化都市づくり推進事業

2,867万円（前年度:2,804万円）

p. 24

本市が誘致した東京藝術大学大学院映像研究科の知識・技術などに市民の皆様が触れることのできる公開講座やオープンスタジオなどの地域貢献事業を実施するほか、横浜から魅力ある映像文化の発信や人材育成を図るため、横浜都心で行う映画祭の開催を支援します。

◆ 国際会議等の開催を契機とした次世代育成の取組 ◆

◆ MICE を活用した人材育成 425 万円

p. 29

【MICE 誘致・開催支援事業の一部】

コンベンション誘致の一環として、コンベンション開催を契機とした次世代育成に取り組みます。

- ① MICE 開催に伴い実施されるセミナー等へ学生の参加機会を確保するなど、次世代を担う若者が最先端の技術や情報に接する機会を創出します。
- ② MICE に関連する市内事業者を対象に、世界を舞台に活躍する有識者を招き、セミナーを開催します。また、市内事業者と大学生を対象とした講座「MICE オープンカレッジ」を開催します。

◆ 一校一國運動

230 万円

p. 29

【アフリカ開発会議横浜開催推進事業の一部】

第 5 回アフリカ開発会議（TICAD V）横浜開催にあわせて、横浜の子どもたちがアフリカへの関心をもち、アフリカ諸国について学習することを目的として、一校一國運動を実施しています。25 年度は、学習した成果を発表する場の提供などで、引き続き、子どもたちの国際理解・交流を推進します。

◆ コラム② 「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」 ◆

(1) 策定の趣旨

文化観光局を中心に「観光・創造都市戦略」を推進してきましたが、今後もより一層の相乗効果を発揮するため、文化芸術創造都市に関する今後の施策展開の基本的な考え方をまとめました。

(2) 基本理念及び基本方針

基本理念

- 人々の活力や創造力の源泉であり、市民生活の向上につながる文化芸術の振興を図ります。
- 文化芸術のもつ創造性を様々な施策に生かして、コミュニティの活性化を図るなど、創造的なまちづくりを進めます。
- 横浜の社会資源を生かした創造的な取組や、人々に感動を与える文化芸術の展開により、賑わいづくりと経済の活性化につなげます。

基本方針

- 1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。
- 2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。
- 3 アーティスト・クリエイターを支援し、創造性を生かしたまちづくりを進めます。
- 4 賑わいづくり・観光 MICE 振興にもつながる、横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信します。

※ 期間は概ね 10 年を想定しますが、社会経済情勢や国の政策動向の変化、本市の新たな「中期計画」の策定等に伴い、必要に応じて見直します。

市民の皆様やNPO等が主体となって行う文化芸術活動を支援するとともに、様々な文化芸術活動を鑑賞、創作、体験、発表できる機会を充実します。

また、文化芸術活動の拠点施設を運営・整備し、文化芸術を身近に親しむ機会を提供するとともに、様々な情報や魅力を発信していきます。

(1) 地域文化サポート事業 **拡充**

3,000万円(前年度:1,000万円)

p. 26

市民の皆様やNPO等が行う、地域特性や魅力をいかし、コミュニティやまちの活性化につながる文化芸術活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を支援します。

支援対象事業を広く公募し、団体相互のネットワーク形成や一体的な広報などの取組により、市域全体での地域文化の支援、発信・発掘を推進します。

また、市内文化施設などからの相談受付、研修等を行うなど、地域での文化芸術活動を幅広くサポートします。

(2) 芸術文化支援事業 **拡充**

9,687万円(前年度:4,993万円)

p. 26

横浜に拠点を置く文化芸術団体等の活動を支援することで、市民の皆様が様々な文化芸術活動を鑑賞、体験、発表できる機会を充実していきます。

横浜の音楽芸術の基盤となっており、市内唯一のプロオーケストラである神奈川フィルハーモニー管弦楽団の運営を引き続き支援するとともに、公益財団法人への移行に伴う財政基盤の強化のため、ブルーダル基金へ拠出します。

また、美術や舞台芸術など、市民の文化振興を担っている団体の活動を、引き続き支援します。

(3) 創造都市市民連携事業

1,819万円(前年度:2,236万円)

p. 24

「まち全体をステージに」をコンセプトに、まちの賑わいや来街者の回遊性を創出する「横濱 JAZZ PROMENADE」の開催を支援します。

また、日本大通りを中心に、市民ミュージシャンを主とした出演者による多地点同時コンサート「ホッチポッチ・ミュージックフェスティバル」など、イベントの開催支援を行います。

(4) 文化施設運営事業

25 億 9,886 万円 (前年度 : 25 億 663 万円) p. 27

横浜美術館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫 1 号館の専門文化施設 5 館の運営を通じて、国内外から注目されるような質の高い展覧会・公演を開催するとともに、関内ホール、大倉山記念館、長浜ホール、久良岐能舞台、陶芸センターなど市内 10 の文化施設の運営を通じて、市民の皆様文化芸術を身近に親しむ機会を提供し、様々な情報や魅力を発信します。

また、各施設を安全かつ適切に維持管理するための修繕や消火設備の更新を行うとともに、文化施設の機能の維持に不可欠な備品について、劣化の進んだものから順次更新していきます。

(5) 文化施設整備事業

22 億 7,940 万円 (前年度 : 27 億 6,197 万円) p. 27

文化活動の身近な拠点となる文化施設を各区の地域特性等に応じて整備します。

- ・ 緑区民文化センター 3,018 万円 (前年度 : 10 億 4,401 万円)
⇒ 25 年 10 月上旬開館予定
- ・ 戸塚区民文化センター 12 億 4,686 万円 (前年度 : 7 億 1,463 万円)
⇒ 25 年 8 月末開館予定
- ・ 鶴見区民文化センター 10 億 236 万円 (前年度 : 10 億 333 万円)
⇒ 23 年 3 月開館 (23 年度から 25 年度に土地費相当額の計上)

(6) 市民ギャラリー移転事業

2 億 7,000 万円 (前年度 : 2,500 万円) p. 27

耐震強度の低い教育文化センターの解体に伴い、同センター内の市民ギャラリーを旧いせやま会館 (西区宮崎町) へ移転します。

24 年度に行った設計をもとに改修工事に着手し、26 年秋の再開を目指します。



【地域文化サポート事業】
「創造と森の声 2011」の作品



【横浜 JAZZ PROMENADE】
高校生による演奏 Jazzy Beats ©YJP

4**創造都市施策の新たな展開**

歴史的建造物の保全活用などの横浜ならではの個性と魅力をいかしたまちづくりを進めるとともに、アーティスト・クリエイターなど創造的な人材の一層の集積を図ります。

また、企業や地域との協働を推進し、アーティスト・クリエイター等の集積を産業振興やまちづくりにつなげていきます。

(1) アーツコミッション事業**拡充****1億2,898万円(前年度:1億2,525万円) p. 24**

アーティスト・クリエイターをはじめとする創造の担い手が活動しやすい環境づくりのため、ワンストップ相談窓口を置き、活動に対する相談、助成などを行います。

また、新たにアーティスト・クリエイターと企業のマッチングを行うなど、創造的産業を振興するモデル事業を実施します。

(2) 旧関東財務局保全・耐震対策事業**新規****2,000万円****p. 25**

本市の登録歴史的建造物である旧関東財務局について、耐震補強を含めた改修工事を行い、クリエイターのオフィスやカフェなどを有する施設として活用するため、25年度は基本設計に着手します。

耐震改修後は、民間事業者と連携し、創造産業の集積を推進し、賑わいの創出及び経済の活性化につなげる中核施設として活用していきます。

(3) スマートイルミネーション事業**拡充****1,430万円(前年度:1,200万円) p. 25**

冬のイルミネーションシーズンにあわせ、公共空間を中心とした都心臨海部の夜景を省電力技術とアートの力で演出し、都市としての魅力アップを図ります。

25年度は、創造都市を形成する拠点や文化関連施設との連携をさらに強化して、地域全体でスマートイルミネーションを創出します。

(4) 創造界限活動支援事業**3億6,144万円(前年度:3億6,674万円) p. 24**

歴史的建造物や倉庫等、都心部の地域資源を有効活用した創造界限拠点として、ヨコハマ創造都市センター(旧第一銀行横浜支店)、BankART Studio NYK(日本郵船横浜海岸通倉庫)、急な坂スタジオ(旧老松会館)、象の鼻テラス、ハンマーヘッドスタジオ新・港区(新港ふ頭展示施設)の運営・管理を行い、アーティスト・クリエイターの集積を進めるとともに発信性を高め、地域の活性化を図ります。

また、かつて違法な小規模飲食店が多数立地していた初黄・日ノ出町地区において、引き続き、地元・警察・行政が一体となって、文化芸術の力をいかしたまちの再生を進めます。

(5) 創造都市国際交流事業

新規

2,500万円

p. 24

創造都市の取組を推進する地方自治体間の連携・交流を促進する「創造都市ネットワーク日本 (CCNJ)」と連携して、各種会議等を実施するなど、創造都市の普及、発展に取り組めます。

また、国内だけでなくアジアをはじめとする創造都市を目指す都市で活動する担い手が集い、新たな創造都市の実現について議論する国際会議を開催し、横浜での創造都市の取組を世界に発信するとともに、国外でも横浜の存在を高めていきます。

◆ コラム③ 集積から産業振興へ ◆

これまで、横浜都心部の賑わいを創出し、横浜経済を活性化するため、横浜都心部にアーティスト・クリエイターの集積を進めてきました。今後は、集積したアーティスト・クリエイターのビジネス機会の創出や創造的産業の振興に向けた取組を強化するため、新たな展開を図ります。

● 旧関東財務局の活用 (耐震改修後に活用)

民間事業者の発信力やコーディネート力を活かし、横浜を代表する魅力的な街並みを形成する日本大通りの賑わい創出を図るほか、旧関東財務局を拠点として、地域・企業等とのネットワーク化を促進し、ビジネス機会の創出、経済の活性化につなげていきます。



【旧関東財務局】

● 創造的産業振興モデル事業の展開 2,000万円 (アーツコミッション事業の一部)

アーティスト・クリエイターと産業とをつなぐ「マッチングコーディネーターチーム」を配置するとともに、アーティスト・クリエイターのビジネス機会の創出や創造的産業の振興に資する新たな助成制度を創設します。



【創造界限活動支援事業 (旧第一銀行横浜支店)】



【スマートイルミネーション横浜 2012】
撮影：amano studio

横浜らしい特色ある先進的な文化芸術を国内外に発信し、都市としての魅力の向上を図るとともに、文化芸術による賑わいの創出、経済の活性化につなげます。

また、世界からアーティストが集まる文化芸術のハブ都市を目指すとともに、アジアにおける人、モノ、情報の拠点都市となる取組を推進します。

(1) 横浜芸術アクション事業

2億4,800万円(前年度:3億9,207万円)

p. 26

市民参加・次世代育成・賑わいづくりに重点を置いた横浜らしい事業展開を行い、ナショナルプロジェクトである横浜トリエンナーレ事業につなげます。

ア 文化芸術活動活性化事業(1億4,800万円)

アフリカ開発会議と連携した文化芸術事業や、横浜の特色ある様々な音楽事業の支援、また、青少年をはじめとした多くの市民が主役となるような事業を展開し、文化芸術活動の機運を高めます。

【主な事業】(事業名は仮称、実施日は予定)

・ サウンド アート アフリカ

実施日:5月14日~20日

場 所:ヨコハマ創造都市センター

内 容:アフリカ開発会議にあわせたアフリカ音楽とアートとの連携事業

・ まちに響くファンファーレ・プレミアムコンサート

実施日:9月20日

場 所:みなとみらい地区

内 容:日本丸の汽笛を合図に、この日のために作曲されたファンファーレを横浜みなとみらい地区の屋内外の複数会場で同時演奏します。その後、横浜みなとみらいホールで特別編成の吹奏楽団によるプレミアムコンサートを開催。

・ アマチュアバンド・フェスティバル

実施日:9月23日

場 所:関内ホール

内 容:企業、団体、サークル、家族などの様々な市民のアマチュアバンドが競い合うフェスティバル。

・ 帆船日本丸吹奏楽演奏会

実施日:9月~11月

場 所:帆船日本丸

内 容:市内の中学校・高等学校の吹奏楽部による演奏会



【帆船日本丸吹奏楽演奏会】

・ **神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏会**

実施日：9月～11月

場 所：市内各所

内 容：学校出張コンサートや、ポップス演奏会

・ **アート、ダンス、音楽連携事業**

実施日：9月～11月

場 所：横浜美術館ほか

内 容：アートやダンスと音楽のコラボレーション事業として、ミュージアムコンサートなどを実施

イ 横浜みなとみらいホール発信力の強化事業（7,000万円）

横浜みなとみらいホールにおいて、海外のオーケストラ公演・次世代育成事業などを実施します。

【主な事業】（事業名は仮称、実施日は予定）

・ **BBC交響楽団演奏会**

実施日：10月4日

場 所：横浜みなとみらいホール

内 容：世界的な音楽祭の一つ「プロムス」の主要オーケストラとして有名な、イギリスを代表するBBC交響楽団によるコンサート。

・ **パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマーフィル「フィデリオ」**

実施日：11月28日、11月30日

場 所：横浜みなとみらいホール

内 容：世界的指揮者であるパーヴォ・ヤルヴィが指揮するベートーベン「フィデリオ」の上演を、国内では横浜のみで開催。

・ **次世代アーティスト育成事業 歌劇「竹取物語」**

実施日：平成26年1月18日（平成25年4月から制作開始）

場 所：横浜みなとみらいホール

内 容：子どもから大人まで楽しめるようなストーリーを題材として、若手アーティストの歌や演奏を中心とした歌劇を創作し、将来アジアでの上演も予定。

ウ ダンス事業（3,000万円）

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012 の開催で高まった機運を継続するため、次世代育成事業や市民参加事業を実施します。

【主な事業】（事業名は仮称、実施日は予定）

・ **日本高校ダンス部選手権大会 (DANCE STADIUM)**

実施日：8月

場 所：パシフィコ横浜

内 容：高校ダンス部を対象としたダンスの全国大会



【第5回日本高校ダンス部選手権 (H24.8.20)】

・ **トップアーティストによるダンスワークショップ**

実施日：7月～9月

場 所：市内各所

内 容：児童・青少年を対象としたダンスワークショップ

(2) 横浜トリエンナーレ事業 8,150万円(前年度:7,090万円) p.24

我が国を代表する現代アートの国際展である「横浜トリエンナーレ」について、次回展（ヨコハマトリエンナーレ 2014）に向けて、出展作家の調整や国内外への広報などの準備を着実に進めます。

- ・会期：2014年8月上旬～11月上旬
- ・主会場：横浜美術館、新港ピア（新港ふ頭展示施設）



【横浜美術館】

撮影：笠木靖之

構造規模

鉄筋・鉄骨コンクリート造、延床面積 26,829 m²



【新港ピア（新港ふ頭展示施設）】

構造規模

鉄骨造、平屋建て 4室、延床面積 4,400 m²

(3) 創造都市国際交流事業【再掲】 **新規** 2,500万円 p.24

国内だけでなくアジアをはじめとする創造都市を目指す都市で活動する担い手が集い、新たな創造都市の実現について議論する国際会議を開催し、横浜での創造都市の取組を世界に発信するとともに、国外でも横浜の存在を高めていきます。

◆ コラム④ 人、モノ、情報の拠点都市へ ◆

○世界への発信

「横浜トリエンナーレ」や「横浜芸術アクション事業」をはじめとした先進的な文化芸術事業の実施や、横浜美術館、横浜みなとみらいホールなどの専門文化施設で、国内外から注目されるような質の高い展覧会・公演を開催し、世界へ発信します。

○世界との交流

「創造都市国際交流事業」やアーティスト・イン・レジデンス等の取組を推進することにより、文化交流・人的交流の一層の発展を図ります。

○アジアからの誘客

様々な文化芸術、観光 MICE の推進により、都市としての横浜の魅力を高め、中国、韓国に加え、拡大基調の東南アジア市場であるタイ、シンガポール、マレーシアからの誘客に取り組みます。

6**国内外からの集客増に向けた取組の推進**

国内外からの交流人口を増加させ市内での消費の拡大をねらい、民間事業者と連携した大型タイアップ事業の展開や、時宜を捉えた戦略的な集客プロモーションを実施します。また、横浜の観光情報を国内外に積極的に発信するとともに、観光客の満足度向上のため受入環境の向上に取り組めます。

(1) 企業連携観光プロモーション事業**拡充****4,394万円（前年度：4,150万円） p.28**

民間企業と連携した大型タイアップ事業を実施することにより、国内外からの集客や観光客の滞在・周遊環境の向上など、中期4か年計画に掲げる重要な事業の推進と課題解決を図ります。

また、民間事業者により企画・実施する、横浜の集客力を高める事業や、横浜の都市としてのブランド力を向上させる事業を外部審査会で認定し、事業費の一部助成や広報等による支援を行います。

(2) 「武家の古都・鎌倉」世界遺産活用事業**新規****1,500万円 p.28**

「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録を契機に、関係省庁や民間事業者等と連携し、国内外からの宿泊客の増加を図ります。

また、世界遺産等の活用等に全庁的に取り組むとともに、近隣自治体等と連携した広報PR等を推進します。

(3) 国内誘客事業**4,565万円（前年度：5,573万円） p.28**

観光関連事業者等との連携による旅行代理店向けの直接セールスや、インターネットを活用した消費者向けPRなど、様々な手法により横浜の観光情報を全国各地へ発信することで、横浜への誘客増加に結び付けます。

また、羽田空港再拡張による国内航空便の増加や、鉄道の延伸・新設など、横浜へのアクセスが向上するエリアを対象としたセールスを強化するなど、時宜を捉えた戦略的なプロモーションを展開します。

(4) 海外集客プロモーション事業**7,349万円（前年度：1億63万円） p.29**

アジア7地域（中国、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア）を主な対象として、現地での訪問セールス、国、近隣自治体や交通事業者との広域連携やインターネットによる情報発信などにより、消費者・旅行会社向けのプロモーションを行い、各市場に即した誘客事業を実施します。

◆ コラム⑤ 「武家の古都・鎌倉」世界遺産登録 ◆

○「武家の古都・鎌倉」世界遺産登録について

12世紀末、鎌倉では武家による初めての全国政権が樹立され、以後約700年間にわたる武家社会が切り開かれました。「武家の古都・鎌倉」は、日本社会や文化にも大きな影響を与えた武家文化が誕生した場所です。

世界遺産登録構成資産は、鶴岡八幡宮や建長寺、円覚寺、鎌倉大仏など鎌倉市の文化財を中心に、称名寺や朝夷奈切通、名越切通、和賀江嶋など横浜市・逗子市を含む国指定の史跡や名勝、重要文化財、国宝で構成しています。



○世界遺産登録を契機とした今後の観光振興

「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録は、広域からの多様な形態・目的による観光客の集客が望めるため、横浜を起点とした鎌倉へのツアー造成やパンフレットの作成などプロモーションを積極的に行い、横浜での宿泊客の増加につなげていきます。

また、「武家の古都・鎌倉」世界遺産に関連した近隣自治体との連携を強化し、世界に向けた都市ブランドの構築や、戦略的な観光施策を進めます。

○「武家の古都・鎌倉」世界遺産登録までの流れ

- 平成 23 年 8 月 四縣市世界遺産登録推進委員会開催
- 平成 24 年 1 月 国が推薦書を提出
- 平成 24 年 9 月 国際記念物遺跡会議による現地調査
- 平成 25 年 5 月 国際記念物遺跡会議による勧告
- 平成 25 年 6 月 世界遺産登録可否の決定

【参考：世界遺産登録関連事業の推進 他局執行予算】(4,100万円)

世界遺産登録を契機とした地域の自然環境の魅力向上や市内世界遺産構成資産周辺の整備・警備対応等

中・大型の国際コンベンションを軸に MICE 全般の誘致を行うとともに、市内事業者と連携した MICE 開催支援や大規模集客イベントと連携した観光・集客支援を推進します。また、MICE 市場の世界的な拡大や横浜での開催需要を踏まえ、MICE 拠点の整備を検討します。

(1) アフリカ開発会議横浜開催推進事業

1億1,076万円(前年度:9,000万円) p. 29

第5回アフリカ開発会議(TICAD V)の横浜開催にあたり、「ともに成長する」、「身近に感じる」、「おもてなしする」の3つを柱に、市民の皆様のアフリカへの理解促進やビジネス機会の提供などを通じて、第4回会議の開催を契機に継続してきた、横浜とアフリカとの交流をさらに深めます。

また、会議開催を横浜の優れたコンベンション開催支援能力をアピールする絶好の機会ととらえ、神奈川県や地元の関係団体等と連携し、安全・円滑な会議開催を支援します。



第5回アフリカ開発会議 概要

日 程：平成 25 年 6 月 1 日（土）～3 日（月）

会 場：パシフィコ横浜（予定）

主 催：日本政府、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行、アフリカ連合委員会（AUC）

①「ともに成長する」(1,180万円)

第5回会議において、横浜市は「アフリカ、ともに成長するパートナーへ。」をテーマに、ビジネス機会の提供やアフリカ応援キャンペーン「ヨコハマ for アフリカ」を実施します。

②「身近に感じる」(3,640万円)

市民がアフリカを一層身近に感じるよう、アフリカ月間や一駅一国運動、各区でのアフリカ関連イベントや、外務省と共催でアフリカン・フェスタ 2013 を開催するなど、市民の関心・理解を深めるイベント等を開催します。

③「おもてなしする」(3,365万円)

市民力を活用したボランティアによる会議運営支援やまちの装飾など、市をあげて会議関係者をおもてなしします。

・ 安全・円滑な会議開催のための支援 等 (2,891万円)

危機管理体制の確保等

【参考：第5回アフリカ開発会議 他局執行予算】(5,149万円)

女性の社会進出に関するシンポジウムの開催、施設管理の強化 等

(2) MICE 誘致・開催支援事業 **拡充**

1億9,081万円(前年度:1億7,558万円)

p. 29

MICE の誘致・開催支援及びプロモーションに関する各種施策を推進することで、MICE 開催機能を強化し、横浜の特色を活かした MICE 都市の確立を目指します。

また、MICE 都市横浜の PR や市内事業者との連携がより一体的となった MICE の誘致・開催支援を行います。



【MICE の様子】

【主な事業内容】

ア コンベンション誘致

高い経済波及効果の見込まれる中・大型国際会議を中心に誘致活動を行います。

(主な取組内容)

- ・ 最大 1000 万円を助成する「大型国際コンベンション誘致助成金」制度の運用
- ・ MICE に関する世界最大級の海外商談会への出展

イ MICE の新たなターゲット発掘

MICE の M (企業ミーティング)、I (インセンティブ) のターゲット調査と、経済波及効果測定を行います。現在、主たるターゲットとしている C (国際会議) に次ぐ新たなターゲットの発掘を行い、MICE 開催による波及効果を高めていきます。

ウ MICE 開催支援

市内事業者と連携した、MICE 開催支援活動を実施します。

(主な取組内容)

- ・ 市内事業者から調達した物品やサービスを現物にて支給する「横浜 MICE 開催応援プラン」の運用

エ 集客イベントを活用した MICE の誘致・開催支援

カメラの国際展示会「^{シービープラス}CP+」の横浜開催をきっかけにスタートした写真映像の総合イベント「フォト・ヨコハマ」をはじめ、横浜の魅力を活かした話題性・集客性の高い大規模集客イベントへの支援を通じて、MICE 誘致・開催支援を行います。



【フォト・ヨコハマ 記者会見の様子】

(3) 新たな MICE 拠点整備検討事業

4,000万円(前年度:1,510万円)

p. 29

MICE 市場の世界的な拡大や横浜での開催需要を踏まえ、みなとみらい 21 中央地区での MICE 施設拡充整備に向けた事業手法の実現性を高めるため、民間事業者の意向把握調査等を実施します。

◆コラム⑥ 横浜 MICE の実績と国内外での MICE の取組◆

○ 本市の MICE 施策

「国際観光・MICE 都市の実現」を目標とし、パシフィコ横浜を中核的 MICE 拠点として位置付けて MICE 施策を推進しています。

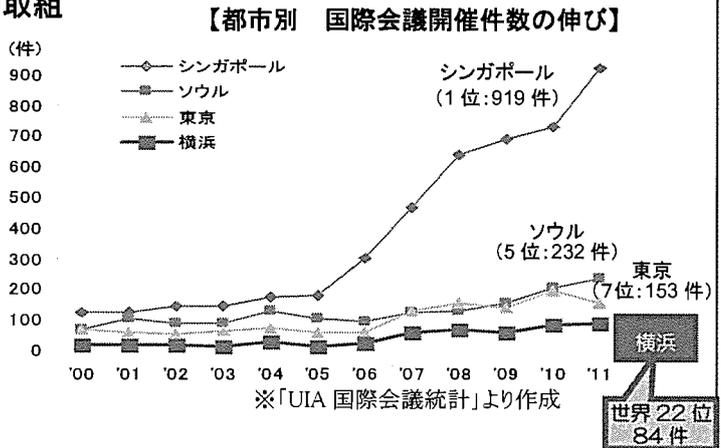
○ 横浜 MICE の実績

- ・ 「第 4 回アフリカ開発会議 (TICAD IV) (2008 年)」
「APEC 首脳会議 (2010 年)」
- ・ 「国際幹細胞学会 (ISSCR) 第 10 回年次大会 (2012 年)」
・ 山中伸弥教授と市内高校生の交流会を開催 【国際幹細胞学会 第 10 回年次大会での交流会の様子】
・ iPS 細胞や再生医療に関する質問、ポスター発表等により交流



○ 「アジア諸国」での MICE 推進の取組

シンガポール、韓国など、「アジア諸国」では、MICE による高い波及効果に着目し、大規模施設の整備などを通じて MICE を推進しています。その結果、国際会議開催件数も増加しています。



○ 横浜 MICE の強みと弱み

羽田空港からのアクセスの良さや、国の制度適用※、大型会議と展示会の同時開催ができる複合コンベンション施設があることなどの強みを活かし、7 年先の大型国際コンベンションの誘致が決定しています。一方で、年間を通じて高稼働であるがゆえ、多くの機会損失があるという弱みも抱えています。

※ 「京浜臨海部ライフバージョン国際戦略総合特区」、「環境未来都市」、「特定都市再生緊急整備地域」

○ 今後の取組

高い波及効果の見込まれる「中・大型国際会議の誘致」、将来を見据えた「国との連携による施設の機能拡充の検討」を進め、質を重視した「MICE 都市として国際的な地位の確立」を目指します。



【パシフィコ横浜】・展示場 約 2 万㎡ 会議場 約 5 千人

海外の大規模施設の例

- ・ シンガポール エキスポ
展示場：約 10 万㎡
会議場：約 8 千人
- ・ ソウル コエックス
展示場：約 3.6 万㎡
会議場：約 7 千人

◆ コラム⑦ 横浜市中企業振興基本条例関連事業 ◆

4事業 5,125万円 (前年度 3事業 3,378万円)

- ・ アーツコミッション事業 (うち 創造的産業振興モデル事業) 2,000万円 【新規】
⇒ アーティスト・クリエイターのビジネス機会の創出や創造的産業の振興に資する新たな助成制度を創設します。
- ・ アーツコミッション事業 (うち 事務所等開設支援) 550万円 (前年度：528万円)
⇒ 関内・関外の既存民間建築物にアーティスト・クリエイターが移転する際に、助成金を交付し、都心部の活性化、創造産業の振興を図ります。
- ・ MICE 誘致・開催支援事業 (うち MICE 開催支援) 1,975万円 (前年度：2,350万円)
⇒ コンベンションをはじめとした MICE 全般の開催支援として、市内中小企業と連携して主催者への現物支給 (看板、横断幕、アトラクション等) を実施します。
- ・ ヨコハマ・グッズ『横濱 001』育成支援事業 600万円 (前年度：500万円)
⇒ 地域ブランドの育成と横浜観光の PR を目的に、会員の多くが中小企業である一般社団法人 YOKOHAMA GOODS 001 のイベント等への出展や新たな販路開拓の取組等を支援します。

Ⅲ 平成25年度 文化観光局予算総括表

(単位：千円)

科 目	25年度 予算額	24年度 予算額	差 引 増△減	前年比 (%)	主 な 増 減 事 業
4款 文化観光費	8,843,680	9,029,399	△ 185,719	△ 2.1	
1項 文化観光費	8,843,680	9,029,399	△ 185,719	△ 2.1	
1目 文化観光総務費	1,227,567	1,157,736	69,831	6.0	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション事業 2,860千円増 ・調査分析事業 2,800千円増 ・魅力創発事業 △ 16,850千円
2目 創造都市推進費	704,377	762,307	△ 57,930	△ 7.6	<ul style="list-style-type: none"> ・創造都市国際交流事業 25,000千円増 ・旧関東財務局保全・耐震対策事業 20,000千円増 ・緊急雇用創出事業等 △ 132,258千円
3目 文化振興費	5,808,860	6,036,527	△ 227,667	△ 3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化サポート事業 20,000千円増 ・市民ギャラリー移転事業 245,000千円増 ・文化施設整備事業 △ 482,571千円
4目 観光・コンベンション振興費	1,102,876	1,072,829	30,047	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ開発会議横浜開催推進事業 20,756千円増 ・新たなMICE拠点整備検討事業 24,900千円増 ・海外集客プロモーション事業 △ 27,148千円

IV 予算科目別内訳

1 項 1 目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市 債	その他	一般財源
1 文化観光 総務費	千円 1,227,567	千円 1,157,736	千円 69,831	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,227,567

横浜魅力づくり室

(1) シティプロモーション事業 59,992千円 (前年度 57,132千円)

文化芸術・観光分野を中心とした、全庁的取組として、表現や方法に統一性と一貫性のあ
るプロモーションを展開します。

特に首都圏での情報発信力の強化のため、重点的にプロモーションを行うイベントや施設
を設定するなど、選択と集中により、横浜のブランディングにつながるプロモーションを進
めていきます。

(2) 調査分析事業 8,800千円 (前年度 6,000千円)

市内で実施されるイベントや、横浜を代表する文化・観光施設等について、広く認知度や
訪問意欲等を調査し、今後の施策立案、プロモーション等の基礎資料として活用します。

(3) 魅力創発事業 23,800千円 (前年度 40,650千円)

「旧東海道の歴史を活かした魅力づくり」など、都心部や郊外の魅力資源について、区
局、市民団体、企業との連携により、横浜の魅力をさらに高める取組を進めます。

総務部

(4) 総務費 17,884千円 (前年度 14,373千円)

文化観光局職員の人材育成事業などを実施します。

(5) 人件費 1,117,091千円 (前年度 1,039,581千円)

文化観光局職員の人件費を計上します。

1項2目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市債	その他	一般財源
2 創造都市費	千円 704,377	千円 762,307	千円 △57,930	千円 21,900	千円 -	千円 12,937	千円 669,540

創造都市推進部

- (1) 創造界隈活動支援事業 **361,444千円** (前年度 366,741千円)
 ア 歴史的建造物や倉庫等、都心部の地域資源を有効活用した創造界隈拠点施設の運営管理（ヨコハマ創造都市センター、BankART Studio NYK、急な坂スタジオ、ハンマーヘッドスタジオ新・港区、象の鼻テラス）
 イ 初黄・日ノ出町地区における、地元、警察、行政が一体となった文化芸術の力を活かした地域再生まちづくりによる都市の再生
- (2) アーツコミッション事業 **128,982千円** (前年度 125,245千円)
 ア アーティスト・クリエイターをはじめとする、創造の担い手が活動しやすい環境づくりをするためのワンストップ相談窓口の設置、及び活動に関する相談・助成
 イ アーティスト・クリエイターと企業とのマッチングによる、創造的産業振興モデル事業を実施
- (3) 映像文化都市づくり推進事業 **28,665千円** (前年度 28,040千円)
 ア 東京藝術大学大学院映像研究科の知識・技術などに市民が触れることのできる地域貢献事業を実施
 イ 東京藝術大学大学院映像研究科が校舎として使用する映像文化施設の維持管理
 ウ 都心臨海部で行なわれる特色ある映画祭の開催を支援
- (4) 横浜トリエンナーレ事業 **81,500千円** (前年度 70,900千円)
 我が国を代表する国際的な現代美術展「横浜トリエンナーレ」の次回展(2014年開催)の開催準備を行います。
- (5) 創造都市国際交流事業 **25,000千円** (前年度-)
 ア 創造都市の取組の推進を図る、地方自治体間の連携・交流を促進する「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」との連携、及び各種会議等を実施
 イ 国内及びアジアをはじめとする、創造都市を目指す都市で活動する担い手が集い、新たな創造都市の実現について議論する国際会議を開催
- (6) 創造都市市民連携事業 **18,190千円** (前年度 22,360千円)
 ア 「まち全体をステージに」をコンセプトに実施する「横濱JAZZ PROMENADE」、
 「ホッチポッチ・ミュージックフェスティバル」などへの開催支援
 イ 都心臨海部における、市民による文化芸術の創造性をいかした活動に対する支援

(7) スマートイルミネーション事業 **14,300千円** (前年度 12,000千円)

冬のイルミネーションシーズンにあわせ、公共空間を中心とした都心臨海部の夜景を省電力技術とアートで演出し、都市としての魅力アップを図ります。

また、創造都市を形成する拠点や文化関連施設とも協働して、地域全体でスマートイルミネーションを創出します。

(8) 旧関東財務局保全・耐震対策事業 **20,000千円** (前年度ー)

ア 歴史的建造物である旧関東財務局の耐震補強を含めた改修工事の基本設計を実施

イ クリエーターのオフィスやカフェなどを有する施設として活用するため、民間事業者の意向把握調査の実施、及び公募要項案の作成

(9) 創造都市推進事業 **4,396千円** (前年度 4,763千円)

創造都市の実現に向けた国内外に対する広報費や事務経費等

(10) 創造都市プロモーション強化事業 **21,900千円** (前年度ー)

創造限界拠点等で実施しているイベント等を効果的にプロモーションするために、ディレクション、取材収集、広報発信、PR活動を行うことにより、市民の認知度向上、及びイベント等への来場者数の増加を図ります。

【緊急雇用創出事業】

【終了事業】

(オープンヨコハマ インフォメーションデスク事業) 【緊急雇用創出事業】 (前年度 32,513千円)

(オープンヨコハマ 広報支援事業) 【緊急雇用創出事業】 (前年度 16,500千円)

(スマートイルミネーション会場設営運営事業) 【緊急雇用創出事業】 (前年度 39,979千円)

(横浜ランデヴープロジェクト事業) 【ふるさと雇用再生特別基金事業】 (前年度 14,286千円)

(横浜創造都市スクール事業) 【緊急雇用創出事業】 (前年度 28,980千円)

1項3目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市債	その他	一般財源
3 文化振興費	千円 5,808,860	千円 6,036,527	千円 △227,667	千円 413,075	千円 1,046,000	千円 26,719	千円 4,323,066

文化振興部

- (1) **横浜芸術アクション事業** **248,000千円** (前年度 392,072千円)
 市民参加・次世代育成・賑わいづくりに重点を置いた横浜らしい事業展開を行い、ナショナルプロジェクトである横浜トリエンナーレ事業へつなげます。
- (2) **芸術文化教育プログラム推進事業** **23,500千円** (前年度 17,500千円)
 次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、文化施設等とのネットワークにより実施します。
- (3) **クラシック・ヨコハマ推進事業** **14,000千円** (前年度 11,000千円)
 ア クラシック・ヨコハマ
 国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に地域でのサロンコンサートやミュージアムコンサート等を開催し、若手演奏家に演奏の機会を提供します。
 イ 国際音楽セミナー
 若手演奏家を発掘、育成するため、世界的演奏家による国際音楽セミナーを開催し、成果を発表するコンサート等を行います。
- (4) **地域文化サポート事業** **30,000千円** (前年度 10,000千円)
 市民やNPO等が行う、地域特性や魅力をいかし、コミュニティやまちの活性化につながる文化芸術活動や、個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を支援します。
 ア 文化芸術活動の支援
 イ 相談受付、研修会の開催
 ウ 横浜市地域文化サポート事業審査委員会の運営
- (5) **芸術文化支援事業** **96,867千円** (前年度 49,933千円)
 横浜の音楽芸術の基盤となっており、市内唯一のプロオーケストラである神奈川フィルハーモニー管弦楽団の運営を支援するとともに、公益財団法人への移行に伴う財政基盤強化のため、ブルーダル基金へ拠出します。
 また、美術や舞台芸術など、市民の文化振興を担っている団体の活動を、引き続き支援します。

(6) 文化施設運営事業 **2,598,857千円** (前年度 2,506,628千円)
 横浜美術館、横浜みなとみらいホール等の文化施設の運営等を行います。

ア	横浜美術館運営費	700,000千円
イ	横浜みなとみらいホール運営費	437,010千円
ウ	横浜能楽堂運営費	170,000千円
エ	横浜にぎわい座運営費	190,901千円
オ	関内ホール等文化施設運営費	763,587千円
カ	市民利用施設予約システム運営費等	337,359千円

(7) 文化施設整備事業 **2,279,401千円** (前年度 2,761,972千円)
 市民の主体的、創造的な文化活動の身近な拠点となる文化施設を各区の地域特性等に応じて整備します。

ア	鶴見区民文化センター (保留床土地費相当額)	1,002,358千円
イ	戸塚区民文化センター (保留床取得費等)	1,246,863千円
ウ	緑区民文化センター (初度調弁費等)	30,180千円

(8) その他の文化振興事業 **57,045千円** (前年度 48,825千円)
 横浜文化賞の贈呈、美術資料収集等を行います。

(9) 市民ギャラリー移転事業 **270,000千円** (前年度 25,000千円)
 耐震強度の低い教育文化センターの解体に伴い、同センター内の市民ギャラリーを旧いせやま会館 (西区宮崎町) へ移転します。
 24年度に行った設計をもとに改修工事に着手し、26年度秋の再開を目指します。

(10) 芸術文化振興財団補助金 **191,190千円** (前年度 213,597千円)
 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団の運営及び事業への補助を行います。

4	1項4目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
					国・県	市債	その他	一般財源
	観光・コンベンション振興費	千円 1,102,876	千円 1,072,829	千円 30,047	千円 -	千円 -	千円 867,384	千円 235,492

観光・コンベンション振興部

1 観光資源の魅力アップと活用 428,874千円 (前年度 438,081千円)

国内外からの多くの観光客を迎え、街の賑わいを創出するため、集客性が高く、横浜のブランドの向上に寄与する民間事業者の事業と連携するとともに、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録を契機とした観光プロモーションを積極的に展開します。

また、引き続き観光客の受入環境の充実に取り組むとともに、三溪園の施設整備支援をはじめ所管施設の管理・運営等を行います。

(1) 企業連携観光プロモーション事業 43,944千円 (前年度 41,500千円)

- ア 企業との共同事業による観光の振興
- イ 横浜観光プロモーションの認定

(2) 「武家の古都・鎌倉」世界遺産活用事業 15,000千円 (前年度 -)

「武家の古都・鎌倉」をテーマに、民間事業者と連携し、国内外からの宿泊客の増加を図ります。

(3) 国内誘客事業 45,647千円 (前年度 55,729千円)

- ア 修学旅行等国内向けセールスプロモーション
- イ インターネットによる情報発信

(4) ニューツーリズム推進事業 10,650千円 (前年度 13,500千円)

- ア 観光資源開発とニューツーリズム振興
- イ 横浜が舞台の映像作品を活かしたフィルムツーリズムの推進
- ウ 京浜臨海部の産業観光振興

(5) フィルムコミッション事業 10,800千円 (前年度 16,000千円)

横浜への観光客誘致やシティセールスに効果のある映像作品のロケ支援及びロケ受入のための環境整備を行います。

(6) 横浜おもてなし事業 131,905千円 (前年度 144,655千円)

観光案内所の運営等により、国内外からの観光客受入環境の充実を図ります。

(7) 地域ブランド育成と施設整備支援等 170,928千円 (前年度 166,697千円)

- ア ヨコハマ・グッズ「横濱001」育成支援
- イ 三溪園施設整備支援事業
- ウ 所管観光施設の管理及び運営の支援
- エ 観光動向に関する調査 等

2 海外集客プロモーション

73,485千円 (前年度 100,633千円)

アジア7地域から多くの観光客を集客するため、各市場に即した事業を実施します。また、現地での訪問セールス、企業や他の自治体との広域連携やインターネットによる情報発信などにより、効果的なプロモーションを実施します。

(1) 海外集客プロモーション事業

51,485千円 (前年度 78,633千円)

現地プロモーションや現地セールスなどを実施し、観光地としての知名度向上とツアー造成を促進します。

(2) 海外メディア等招へい事業

12,500千円 (前年度 12,500千円)

メディアや旅行会社の招へい等を行い、各市場に即した誘客事業を実施します。

(3) 海外向け情報発信等

9,500千円 (前年度 9,500千円)

インターネットを活用した情報発信を行います。

3 MICE誘致・開催支援

600,517千円 (前年度 534,115千円)

中・大型国際コンベンションを軸としたMICE全般の誘致・開催支援や、「横浜ならでは」の集客イベントへの開催支援に継続して取り組みます。
また、新たなMICE拠点整備検討事業に取り組みます。

(1) MICE誘致・開催支援事業

190,805千円 (前年度 175,576千円)

- ア コンベンション誘致
- イ MICEの新たなターゲットの発掘
- ウ MICE開催支援
- エ 集客イベントを活用したMICEの誘致・開催支援 等

(2) 新たなMICE拠点整備検討事業

40,000千円 (前年度 15,100千円)

MICE施設拡充整備に向けた検討のため、民間事業者の意向を把握する調査等を実施します。

(3) MICE施設管理等事業

12,720千円 (前年度 6,301千円)

パシフィコ横浜（会議センター、ホテル、展示ホール、国立大ホール、マリノロビー）の円滑な運営を推進します。

(4) 大型国際コンベンション誘致等事業

6,236千円 (前年度 7,795千円)

政府系を中心とした大型国際コンベンションの誘致等を行います。

(5) アフリカ開発会議横浜開催推進事業

110,756千円 (前年度 90,000千円)

「ともに成長する」、「身近に感じる」、「おもてなしする」の3つを柱とし、市民の皆様のアフリカへの理解促進やビジネス機会の提供などを通じて、横浜とアフリカとの交流をさらに深めます。

また、地元の関係団体等と連携し、安全・円滑な会議開催を支援します。

(6) 減債基金積立金

240,000千円 (前年度 239,343千円)

・株式会社横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）に対する損失補償の設定

パシフィコ横浜の大規模改修の実施に向けて、損失補償を新たに設定。
(25年度設定額：1,500,000千円)



第5回 **アフリカ開発会議**

横浜開催 2013年6月1日(土)▶3日(月)



基本目標

発信しよう 横浜の魅力！

～賑わいと活力のあふれる「選ばれる都市」実現のために～

目標達成に向けた施策

1 中期 4 か年計画の集大成に向けて

本市の成長戦略である「観光・創造都市戦略」を担い、文化芸術・観光 MICE 分野のさらなる充実を図る使命のもと、厳しい財政状況の中で、選択と集中を徹底し、効率的な事業展開を行います。

25 年度は、中期 4 か年計画の最終年度であり、観光 MICE 分野での成長を促進するとともに、横浜の強みを活かし、次世代につながる幅の広い文化芸術、創造都市施策の展開と発信により、賑わいと活力のあふれる「選ばれる都市」の実現を目指します。

2 施策を推進する 7 つの柱

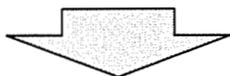
施策の推進にあたっては、『中期 4 か年計画の中間振り返り』や『横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方』を基軸として、文化芸術、創造都市・まちづくり、観光 MICE のそれぞれの取組を深化させるとともに、一層の相乗効果を発揮していきます。25 年度は、文化芸術がもたらす効用や観光 MICE の社会的効果を十分に施策に反映するべく、7 つの柱を立て、施策を推進します。

- 1 戦略的・効果的なシティプロモーションの展開
- 2 横浜の未来を担う次世代育成の推進
- 3 市民の文化芸術活動の支援
- 4 創造都市施策の新たな展開
- 5 横浜らしい先進的な文化芸術の国内外への発信
- 6 国内外からの集客増に向けた取組の推進
- 7 MICE 誘致・開催支援の充実

目標達成に向けた組織運営

文化観光局は 3 つのアップ！！

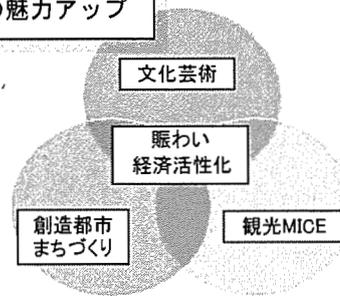
- ◆プロモーションカ アップ
- ◆横浜の魅力 アップ
- ◆マーケティングカ アップ



3 つのアップを連動させ、横浜の魅力を発信し、「ヒト・モノ・情報」など新たな資源を呼び込み「千客万来のまち」、「経済の活性化」につなげていきます。

プロモーションカ アップ

横浜の魅力アップ



マーケティングカ アップ (調査・分析)

主な事業・取組

【主な事業・取組】	【内容】
1 戦略的・効果的なシティプロモーションの展開	
○シティプロモーション事業	・文化芸術、観光分野を中心とした全庁的な取組によるプロモーションを展開するとともに、特に首都圏での情報発信力の強化と、重点的なイベントなどと連動したプロモーションを推進
○魅力創発事業	・都心部や郊外部の魅力資源について、区局、市民団体、企業等との協働により、横浜の魅力さをさらに高める取組を推進
2 横浜の未来を担う次世代育成の推進	
○芸術文化教育プログラム推進事業	・子どもたちのコミュニケーション力等を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験が出来る教育プログラムを、NPO、文化施設等とのネットワークにより実施(88校実施)
○クラシック・ヨコハマ推進事業	・全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、地域でのサロンコンサートなどを開催し、若手演奏家に活躍の機会を提供。また、国際音楽セミナーを開催し、世界の若手演奏家の研さん・発表の場を提供
3 市民の文化芸術活動の支援	
○地域文化サポート事業	・市民やNPO等が行う、地域特性や魅力を活かし、コミュニティやまちの活性化につながる文化芸術活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する事業を支援
○創造都市市民連携事業	・「まち全体をステージに」をコンセプトに、まちの賑わいや来訪者の回遊性の創出や、市民ミュージシャンを主とした出演者による多地点同時コンサートなどの開催を支援
4 創造都市施策の新たな展開	
○アーツコミッション事業	・アーティスト・クリエイターをはじめとする担い手が活動しやすい環境づくりや創造的産業を振興するモデル事業を実施
○スマートイルミネーション事業	・公共空間を中心とした都心臨海部の夜景を省電力技術とアートの方で演出し、都市としての魅力アップを図る。また、創造都市を形成する拠点等と連携して、地域全体でスマートイルミネーションを創出
5 横浜らしい先進的な文化芸術の国内外への発信	
○横浜芸術アクション事業	・「横浜音祭り 2013」を実施し、市民参加・次世代の育成・賑わいづくりに重点を置いた横浜らしい事業展開を行い、26年度開催する横浜トリエンナーレ事業につなげる。また、昨年度実施したダンス事業についても「次世代の育成」等に関する取組を継続して実施
○創造都市国際交流事業	・「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」と連携して、各種会議を開催するなど、創造都市の普及・発展の取組の推進 ・国内だけでなくアジアをはじめとする各都市で活躍する担い手が集い、創造都市に関わる国際会議を開催し、横浜から創造都市の取組を世界に発信
6 国内外からの集客増に向けた取組の推進	
○企業連携観光プロモーション事業	・民間企業と連携した大型タイアップ事業を実施することにより、国内外からの集客や、観光客の滞在促進などを図る
○国内誘客事業	・民間事業者等と連携した旅行代理店への直接セールスや時宜を捉えた戦略的なプロモーションを行い、横浜への誘客増加につながる
7 MICE 誘致・開催支援の充実	
○アフリカ開発会議横浜開催推進事業	・第5回アフリカ開発会議(TICAD V)の安全・円滑な開催を支援する。また、会議開催にあたり、市民のアフリカへの理解促進やビジネス機会の提供などを通じて、横浜とアフリカの交流をさらに深める
○MICE 誘致・開催支援事業	・MICE の誘致・開催支援及びプロモーションに関する各種施策を推進することで、MICE 開催機能を強化し、横浜の特色を活かしたMICE 都市の確立を目指す

※その他の事業、取組については、文化観光局事業概要をご覧ください

(ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka/outline/about/>)